

設立された。八月七日水戸市で設立総会が開かれ、各市町村単位の支部はまだ結成されておられません。小規模事業者の融資機関としても今後の発展が期待されます。商工貯蓄組合がないのは全国で東京都だけになりました。(利根町商工会事務局)



写真は、8月2日東文間小学校で行なわれた稲作栽培技術講演会。会場には熱心にメモする婦人の姿も見える。

婦人も熱心に聴講 人気集めた稲作技術講演会

「稲作栽培技術への方向性」についての講演会が八月二日の神奈川県農業技術センターの所長、夏井和七先生をお迎えして、東文間小学校と利根町公会堂の二箇所で行なわれました。予想以上の参加者にまじり、熱心に「メモ」する婦人の姿も見られ、稲作研究への熱意が感じられました。いままでが男性(主人)を主として構成されていた農業形態も「部分協同」とか「請負耕作」とかの方法に切り替えられようとしております。一方では利根町のように、部分的ではあるが、婦人を中心に移行しつつある現状です。しかし、いずれの形態も障壁は高く、その壁も厚いわけですが、やがてはその土地にあった方向へと進められ、その構成もいろいろと変化して行く事と思われまます。また最近では、農機具のめざましい発達に伴い、めまぐるしいほどの機種が市販されておりますが、我々生産者は、もしかすると栽培技術を忘れ農機具に対する関心が必要以上に寄せられているように感じられます。農協も機械の進歩同様、栽培技術はいままでもなく、育苗や施肥設計等に関する技術講演会や農業経営などの説明会をたびたび催す計画です。で、稲作技術ばかりではなく

とねまちプレイバック

昭和42年9月に発行された「広報とね」に、稲作技術講演会が人気を集めた、という記事が掲載されていました。

神奈川県農業技術センター所長が講演をしている写真からは、女性を含めた多くの人が会場で熱心に聴講する様子が伝わってきます。

記事の中で農業形態が「部分協同」や「請負耕作」などの方法に切り替えられようとしている、と書かれている事から、農業の転換期の一つと言える時期であった事が伺えます。

【情報をお寄せください】

利根町の昔の写真や発刊当時の広報とねなど、利根町の歴史や歩みが分かる情報を募集しています。貴重な史料をお持ちの方は、ぜひ広報編集担当までご連絡ください。

人口と世帯 (令和4年7月1日現在)

総人口	15,500人	(-38)
男性	7,661人	(-22)
女性	7,839人	(-16)
世帯数	7,085世帯	(-25)

() 内は前月比

【8月の納税等】※納期限及び口座振替日は8月31日です。

町・県民税	: 2期	国民健康保険税	: 2期
後期高齢者医療保険料	: 2期	介護保険料	: 3期

令和4年10月1日 就業構造基本調査



安心して働ける明日へ。

統計法に基づき実施する国の重要な「基幹統計調査」です。
就業に関する状況を把握し、安心して働ける社会の実現に役立てます。
調査員がうかがいましたら、ご回答をお願いします。